

## 資料2 植生保護柵の状況と柵内枯死木について

### ● 植生保護柵の破損状況

- ・ 破損なし：17箇所
- ・ 破損1回：8箇所
- ・ 破損2回：9箇所
- ・ 破損3回：1箇所
- ・ 破損4回：1箇所

### ● 柵内枯損木（樹高2m以上）

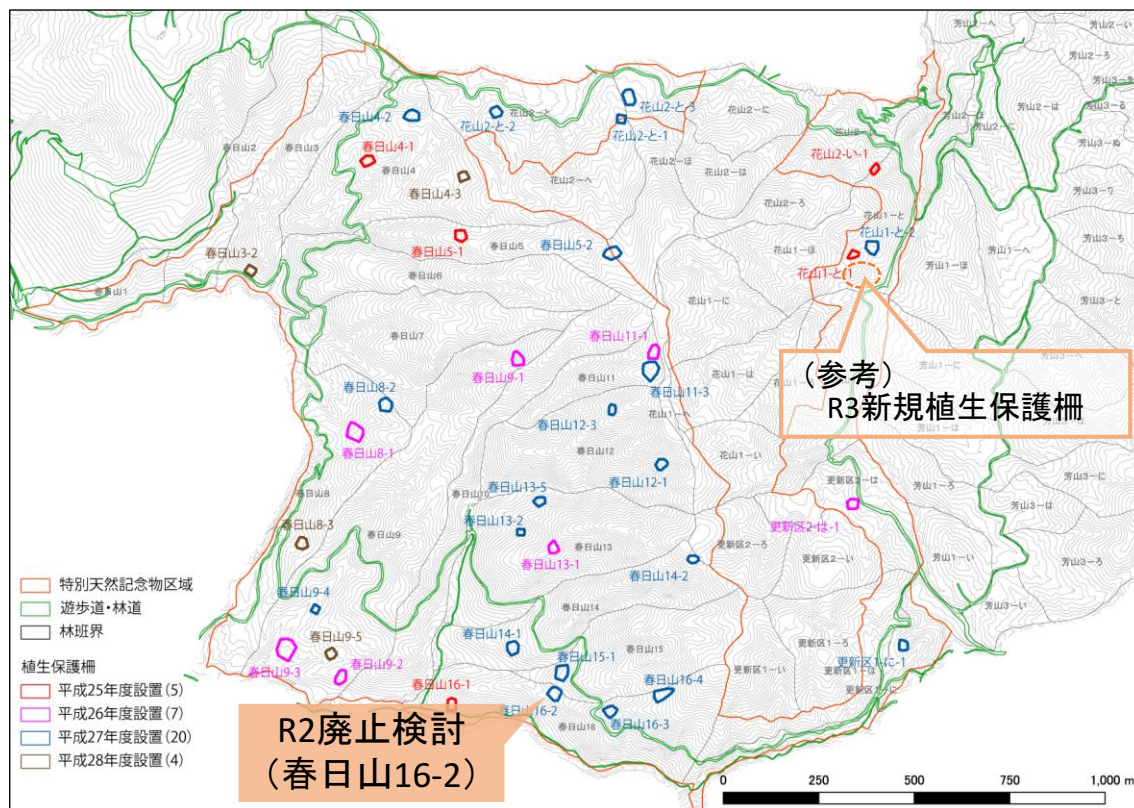
- ・ 植生保護柵のネットや支柱に近接し、倒木時に損傷が想定される枯損木が課題

### ● 「春日山16-2」植生保護柵の廃止

- ・ 土砂による柵の倒壊が繰り返し発生、令和2年度も修復後に破損したため廃止とする

### ● 枯損木の除去の検討

- ・ 倒木時に保護柵への影響が懸念される枯損木計8本（植生保護柵7箇所）の除去を検討する



36箇所の植生保護柵

出典：平成29年度航空レーザー測量成果に基づく地形図に情報を付加したもの



植生保護柵の破損状況

左：土砂の流入・流出による損壊、右：倒木による押しつぶし

# 資料3 植生保護柵の新規設置箇所の検討と今後の方向性について

## ●令和3年度新規植生保護柵の設置

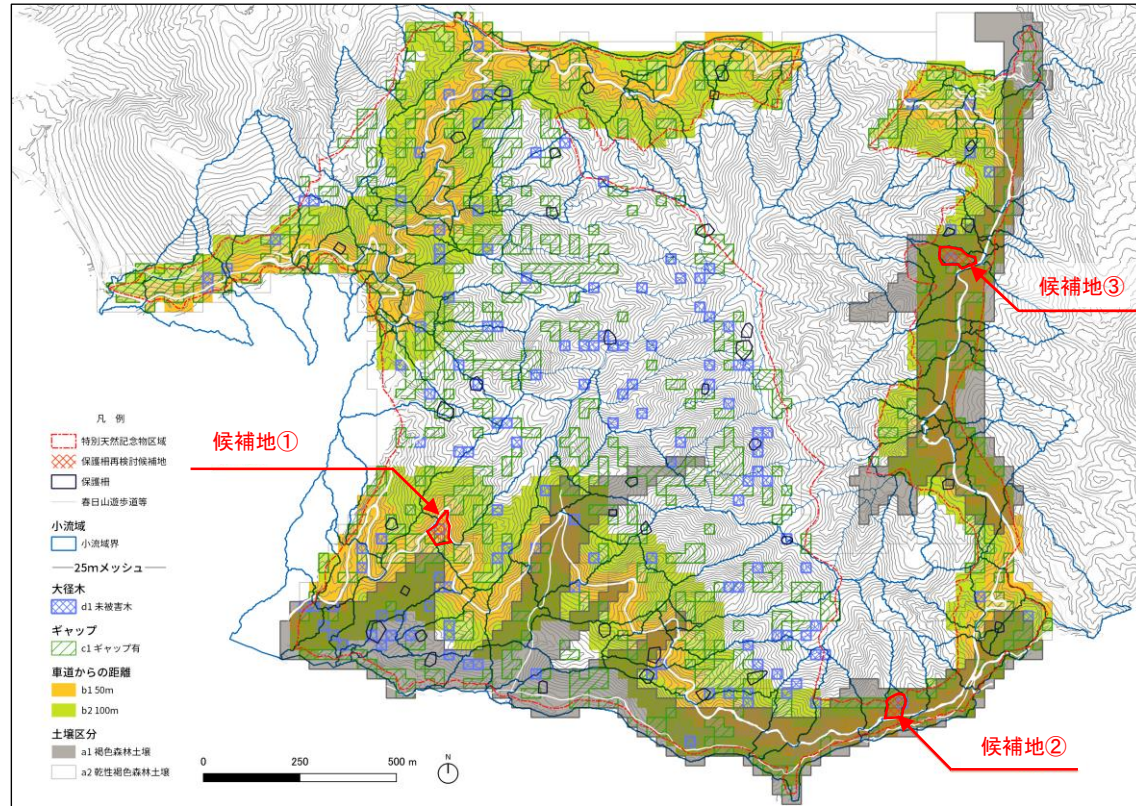
- コジイとモミが優占する小流域（令和元年度検討候補地③）に植生保護柵設置、また、柵周辺に解説板設置予定。

## ●新規植生保護柵の仕様の決定

- 支柱の強度の拡充
- 支柱間隔の変更（3m→1.5m）  
支え支柱の追加
- スカート幅の確保（100cm）  
⇒耐久力、強度の向上

## ●今後の新規植生保護柵の設置

- 候補地②への設置検討
  - ツクバネガシ大径木を含む
  - スギ優占の植生区分に含まれる
  - 「春日杉」の生育⇒春日杉も含む多様な生態系の保全を目的とした新規の保護柵設置の検討



新規植生保護柵候補地（令和元年度検討）

出典：平成29年度航空レーザー測量成果に基づく地形図に情報を付加したもの



候補地②（令和元年度検討候補地）

左：林床の状況、右：ツクバネガシ大径木と春日杉

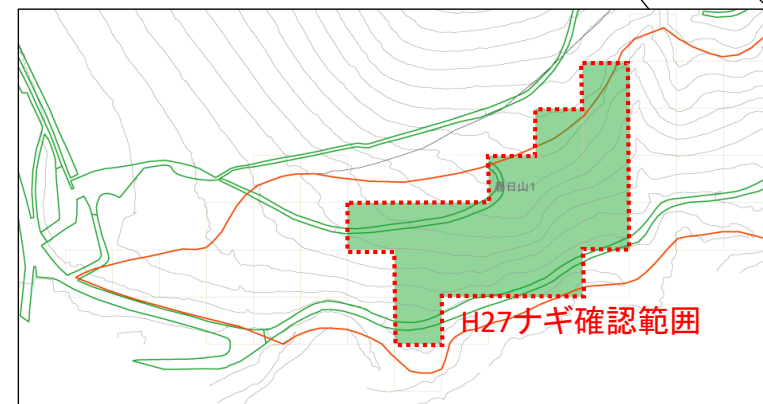
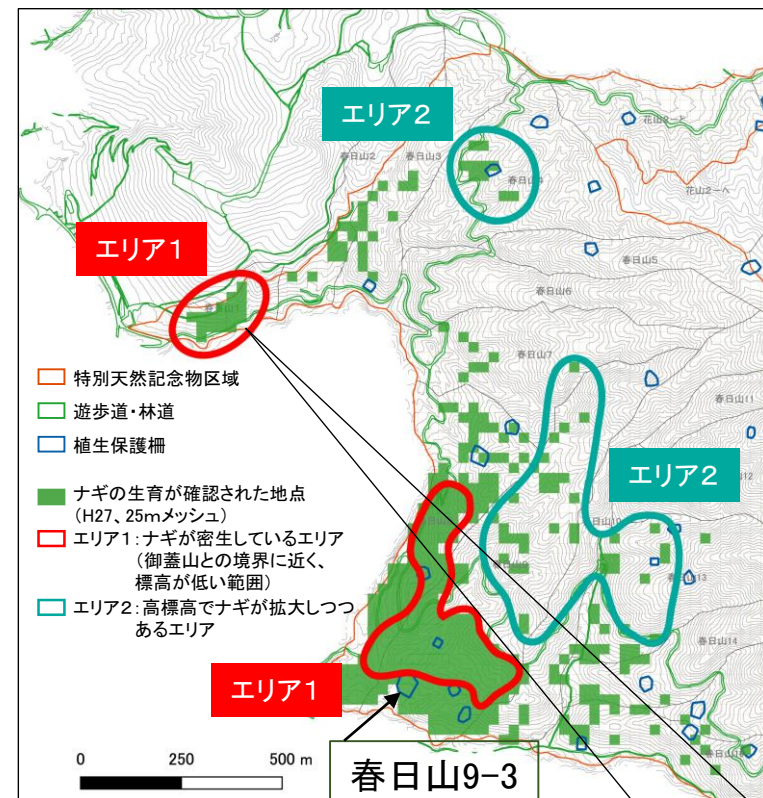
## 資料4 ナギの数量調整に関するこれまでの検討と今後の方向性について

### ●数量調整・調査の実施状況

- ・ 昭和55～57年：  
奈良公園整備研究会植生部会による提言、  
実証実験箇所における数量調整の実施
- ・ 平成26年度：  
実証実験箇所におけるナギの数量調整の実施  
(実施後、同地点に「春日山9-3」  
植生保護柵を設置)
- ・ 平成27年度：  
ナギ分布状況調査・毎木調査の実施
- ・ 平成25～令和2年度：  
植生保護柵モニタリング調査におけるナギの  
出現状況の把握

### ●今後のナギの数量調整の検討

- ・ エリア1の範囲内(約1ha)におけるナギの生  
育状況の詳細調査の実施



ナギの数量調整における実施区分(上)と再調査実施範囲(下)  
出典：奈良県資料、平成29年度航空レーザー測量成果に基づく地形図